

ハートコミュニケーション

栄八通信

急 転

武雄市

市民の声は聞かれたか従うべきは従うが
言うべきは言いたい／それは市を信じるから

文教地域にスーパー進出受入れ イズミ来年十一月開店へ！

十月十三日の都市計画審議会において、スーパーイズミが進出を計画していた。武雄市の馬場崎地区の土地の用途が第二種住居地域に変更され、後は、県の都市計画審議会に送られ、知事の承認をへて決定される。

結果として、来年の十一月一日には、二万七千平米(日祐の四倍・北部の商店の売場面積と同じ)の超大型ショッピングセンターが進出する事が確定的となった。

私は、一連の市の対応に政治的責任を追求して来た。最終的には、市長の判断に帰する事と思うので、無投票当選をさせたのは、我々であるから従うしかない！
私が、六月の一般質問からこれまで異議をとねた理由は次のようなことである。

一、当地は、図書館・歴史資料館の建設予定地となりであり、七月に行なわれた、用途地域の説明会において、市側から、その地域は、文化ゾーンに隣接する場所として環境を保護する為に制限して行くと言われたからである。
それが、イズミ進出の話の進展

とともに、市側の方針が変わって来た。そうなれば、市が市報を2回も使って、当地を、第二種中高層住居地域にして環境を守って行くという方針は、あまりにも信念のないものではないか！
世界的に素敵なまちとされる所は、経済的に裕福なまちでなく、都市計画が着実に進められた所だと思ふ。

二、次に問題としたいのは、武雄の商業の計画に関する事である。それは、イズミ進出が商業者の予想せざる形であったことだ。現在、武雄市が商業将来計画としているのは、平成元年に出された第三次総合計画から、平成五年に商業ビジョン(策定費二千万円)商業活性化懇談会、今年三月に出された県の広域商業診断など、市が中心となって策定したはずである。この7年間、これらに協力した人にとつて、計画にまったくない、イズミの進出にあたって、市が歓迎する態度に、商業者がいきどおりを感じるのも当然だ。

さらに、今年三月には、東部地区の開発を従来の流通業務に商業

発行部数 11,200部
発行者 武雄市議会議員 宮本 栄八
〒843 武雄市武雄町野間
TEL・FAX23-0750

も加える形で、一千万円の調査費を付けたばかりではないか！
北部の区画整理による商業活性化などの公約は、何年も放置されている状態。

結局、①武雄市の都市計画のあり方や、②武雄市の商業計画の一貫性や実行性のなさが、外部からの営利目的の進出に、二ヶ月余で変質したのである。この状況を見ると、武雄市のかかげる「もえるまちづくり」っていったい何だと思いたくなる。私の理想を言えば、予定地は、図書館と連動した、野外コンサートやミニ牧場などの緑地や文化福祉の建物・プールなども含め一大文化ふれ合いゾーンを作ることにも可能ではなかったか、商業施設については、商業地に作るべきで、佐賀市でやっている、まちづくり会社方式のものを進めるべきだと思っている。とに角、イズミ出店が確実なのだから、商業者は、自らの場所をやるか、イズミに入店するか、共同店舗を作るか、東部に出るか廃業するか選択せねばならない。

イズミ出店データ

名称	ゆめタウン武雄
建物	鉄骨造3階建
店舗面積	イズミ部分 1万1千㎡ テナント部分 3.5千㎡
駐車台数	1,053台 (平面787台・屋上266台)
開店日	平成8年11月1日
閉店時刻	夜9時、休日年12日
系列チェーン	60店
九州進出	遠賀、筑紫野、鳥栖 武雄



〔ここ数年何千万円の公費で作られた計画書〕
昼間何回も集まり、夜も話し合いをもち、アンケートに答えたが、イズミの件でもっと根本的な市の商業計画がなされて、計画書作りがされるべきだった。



〔北部区画整理の結論がのび動くに動けない〕
区画整理やるのか、やらないのか、はっきりしない為、ならん公的整備や施策ができない状態が続き、へびの生ごるし状態で、一刻も早く結論を出して対応すべき。

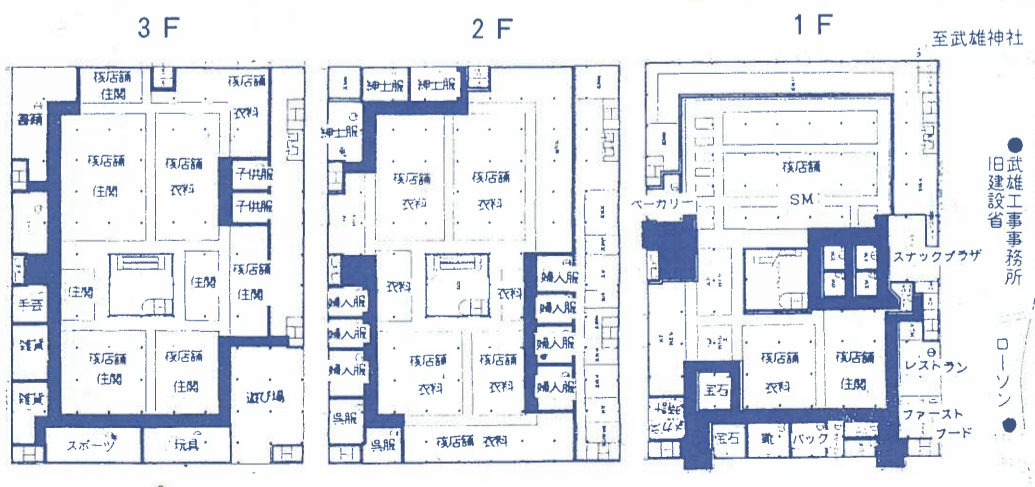


〔今後、開発の目玉とされる東部地区〕
今、農振地のみなおしが、3ケ年で行なわれる。ここについては、武雄市の土地利用計画で都市的利用が示されているので、3年後の農振除外は確実。市の計画に合わせて進出がうわさされたオサダもだまっではないはず。

イズミ関連のビジュアルレポート

ゆめタウン武雄の店レイアウト図

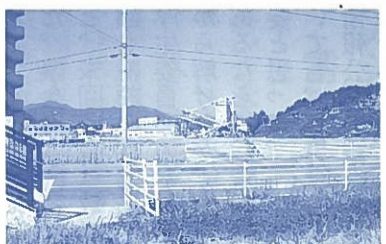
〔もうすぐテナント募集があるが、武雄の商人の資金力で可能かが問題〕



〔今後、この文化地区にどう商業地を作るかが問題〕



〔夢タウン遠賀店、今年3月九州進出〕
武雄と同規模である。デパートに近いという話したが、上峰サティよりグレードは低く、安売りをしないとすることなので、規模の大きさで勝負か？



天山まで見える風景も今年で見おさめ。

のぼり窯問題 いったい何億の事業？ 決定はまだ……

計画策定料八〇〇万円付く！

石井市長が、突然ぶち上げた「ゆわる」世界一ののぼり窯構想である。新聞等で知っておられる方もあると思うが簡単に整理しておく。世界炎博の記念として二〇〇mの登り窯と古陶磁博物館と周辺整備を約一億づつの三億円をかけて、武内町黒牟田地区に、仮古窯跡公園を作るといふもの。市長提案理由は、陶芸のふるさと武雄を国内外にアピールしたいというものである。議員や市職員、一部市民の声を手掛かりとして問題点を整理すると、賛成意見は

- ① 武雄に世界一があるPRや自信
- ② 文化的価値のある古窯跡の再生
- ③ 世界一ののぼり窯のイベントで観光客や陶芸愛好者等の収客増などがあるが、問題点としては……
- ④ 約三億円とされる資金のねん出
- ⑤ 多額の維持運営費や燃料の確保
- ⑥ 唐突の提案による協力態勢不備
- ⑦ 炎博まで、一年での工期不足
- ⑧ 地元武内町の協力と道路整備
- ⑨ 図書館建設等との優先順位問題
- ⑩ 図書館建設等との優先順位問題

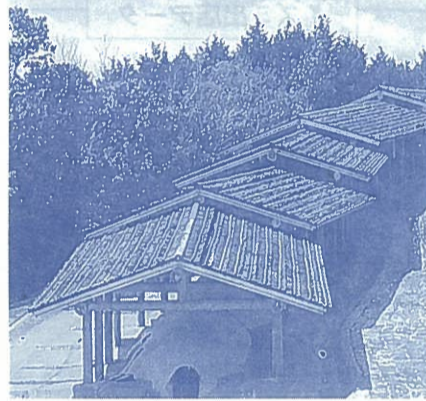
り、市長の理論武装はしっかりしている。私も、古唐津焼など陶芸の里でありながら、一ヶ所で見物する所もない現状を不満に思うわけで、武内はもちろん、川登や武雄温泉や保養村などにも陶芸を体感できる施設があればと思う所である。また、人口減少の率の高い武内に何らかの施策がないし、今回の数少ないチャンスを生かしてほしいとも思っている。

基本的には計画に賛成なのですが、九月に視察に行った波佐見の畑ノ原窯跡整備事業では、窯四室一〇mとおおい屋根五十五m余で約一億円かかっている、これから単純に素人考えでも、二百米のぼり窯となれば、数十倍に成る可能性がある。

この事業は、私の所属している産業委員会の管轄であるので、責任も重い、T副議長は「十億ぐらいかかろさん宮本君」と言っていて、予算拡大への防衛線を張られている。総額三億円内では、無理と私は確信する。それなら何億までなら賛成なのかを、私は市財政を総合的に検討し、図書館や下水道整備など総合的に財政運営を考えて、何億までなら賛成にまわれるのか、市民や先輩に話を聞きながら適確な時期に、自分なりに確信のめもて結論を出したい。

市民の方も、この事業は、後々の必要となる問題であるので、関心をもっていただきたい。

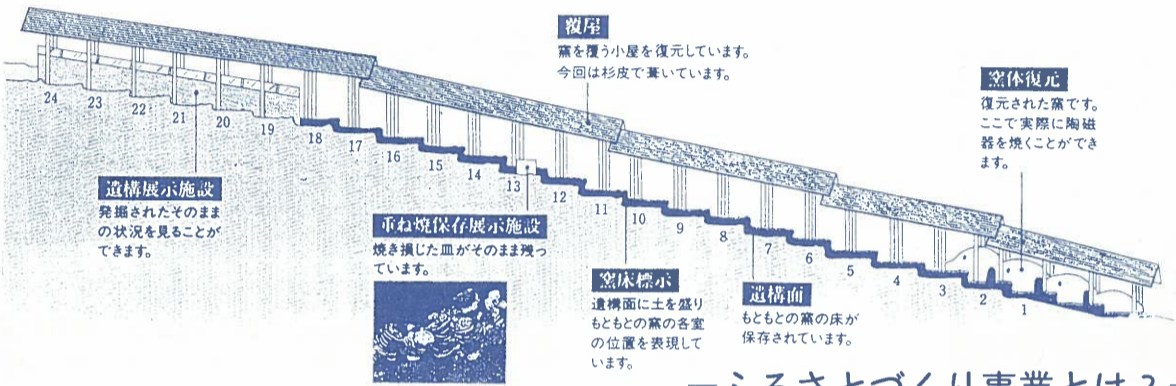
ギネスに登り窯のコーナーがあるのか、本当に二百米が世界一なのか、私もまだ未確認である。追伸 のぼり窯の関係で、焔博事務局は企画課に移り総務委員会管轄となった。



復元された畑ノ原窯跡全景 (波佐見町)



窯の横には作業室と資料室がある



ふるさとづくり事業とは？

川古の大楠公園もこの資金で整備した。システムを簡単に説明すると、2~3年間事業で全事業費の15%は国が負担し、10%を市が負担する。そして、後残りの75%の起債(借金)が国から認められる。(通常、自治体は自由に借金できない)その起債の元利合計の半分を国の交付税として補填されるもの。

結局 全体の約50%は市費

3年		4	5	6	7	8	9	10
15%(国現金)								
10%(市現金)								
75%起債		市 50	50	50	50	50	50	50
		国 50	50	50	50	50	50	50



9年度移転しなければならない

図書館建設に暗雲！

今議会、登り窯との優先性の関係で議案の図書館問題が再浮上。以前の議会答弁で石井市長は平成八年度を目標とすることが明言され、市民は実現を待ちたいのだ。一時、中心部に図書館を作るより、各町の小学校等の図書充実が、子供の為になると発言されたが、その後具体策なし。

今三月、図書館や歴史資料館などの、市民文化の森構想も策定され、実施するのみとなっていた。しかし、今議会の答弁の中で「実施が近づけば慎重になる……」と発言され、議員の更なる究明に現図書館の貸借を平成九年には更新しないと所有者の副島整形医院から通告を受けた事が明らかになった。では、平成九年度には、図書館を建設するのか？の質問に対しての答は、建設と発言は無く「九年には、何らかの対応をせねばならない。」と窯問題とは打って違って歯切れが悪くあれあれ、以前と雰囲気が変わって来たぞ、ひょっとしたら、九年も又どこかに移転するだけでは？と議員にも傍聴席の市民の心の中にも暗雲がたちこめた。何度も言うが、もつと市民に事業実施計画を明確にし、優先順位を問うべきである。行革のアンケートで、市職員が市長の重要意志が伝わっていますか？の質問に、五〇％は伝わっていないと答えているわけだから、市民においては、さらに市長の考えが伝わっていないはずである。

十一月よりくみ取り料値上げ！

「フォーラム武雄、高木・牟田・井手・宮本が、くみ取り料値上げ採決で、賛成に起立しなかった理由は、議会のシステムにも要因」

今回の提出された、尿尿くみ取り値上げの理由は、①従業員昇給、②くみ取り車の予備車の保有である。これは、武雄の業者と言ふより、県のくみ取り業者の統一行動と見た方がよい。議員の中には、業者にストされたら大変、各地からバキュームカーが結集するかもしれないと言う人もいた。今までは、伊万里・多久・武雄・鹿島の四市統一で業者組合と交渉していたが、今回、鹿島は単独交渉、スト覚悟で最悪の場合、市直営も念頭に、半分の8円値上げで押さえるべく9月議会では可決していない。今後、鹿島市の動向は要注目。

とも角、市営はもっと非効率。値上げも、人件費と予備車代となればやむなし、また、環境問題から考えれば、これを機会に合併浄化槽設置が進めば良いと思ひ、本議会では、賛成に立つつもりでいた。他の会派フォーラムの議員も、裁決では会派で拘束してないので、各々賛否に分かれると思っていたが、結果四人共に賛成に起立しなかった。昼食中に、立たなかった理由を聞くと、偶然にも理由は同じで、議会質疑の中で、売掛金が一千二百万円もあるのは、営業努力が不足していると思つたと言ふことだった。議会後、内容について調べると、未回収金は数年度分合計、金額も総額の数%というところが文教厚生委員会のみに配布された資料から解けたが、全議員に議決権があるならば、資料提供も工夫が必要と思つた。

他についても、議員はもちろん、市民への情報公開の観点から改革の必要性を痛感した。

9月定例議会

9/5 ~ 9/25

私の一般質問

1市役所内の案内について

武雄市役所で、市民が事務手続きをする場合、どこでどうすれば良いのか解りにくく、時間を消費して来られた人や、老人の方は印鑑証明などの申請書にどう記入して良いのか、解らずとまどっておられるのを時々見かける。

佐賀市においては、

- ①総合案内の人がいて対応
 - ②書類記載指導員がいて教える
 - ③案内看板が大きく、各課一連
 - ④水道などの事業系の手続も可能
 - ⑤書類記入台が、座って書ける
 - ⑥職員一人は、市民ホールを向く
 - ⑦印鑑証明など書類が内容別
- 武雄も、もう少し市民の利用しやすい、市民ホールができないか。

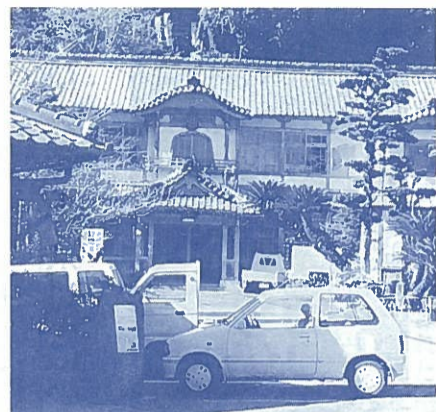
市の答弁

「今、行政改革で、それら案内等についても見当している。できるものは早急にやる。」

鹿島市の申請書用紙

武雄市は1枚で各申請ができるが高齢者にはわかりづらい。

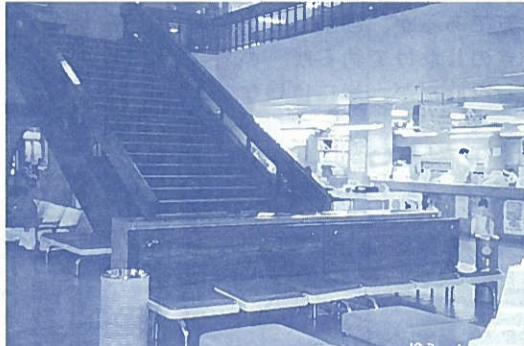
武雄市の申請書



表側はどうか立っているが、裏側は崩壊も時間の問題



質問後ロッカー等が整理され少し開放感が出た



撤去が検討されている市民ホール内の階段

2武雄温泉新館の復元について

市長は、古窯跡公園整備の提案にあたって、「いで湯と陶芸の里」という地域の個性ある遺産を大切に生かすことを主張されているが、そうであるなら、一方のいで湯すなわち温泉における文化の活用も当然考えられるべきである。

その中心であるのが、県重要文化財の武雄温泉新館であります。

この新館は、東京駅など近代建築の逸材とされる唐津市出身である、辰野金吾博士によって設計された、全国的にも通用するもの。

この、温泉新館は今、崩壊寸前となっている。こういうことからぜひ武雄温泉新館復元に、市が積極的に県と武雄温泉株式会社との調整を果たしていただき、一日も早く復元して、文化財として、観光資源として活用すべきだ。

市の答弁

今年九月には、県・市・温泉会社の間で話し合いを実施している。武雄温泉新館の復元に当っては、所有者の温泉会社が復元に関しての資金等の対応ができれば、市としても、協力する。

解説(県文化財は、県が38、市が38、所有者が28となっている)で、市の支出は独自に判断できる。

3工業用水の将来と若木工業団地

六月議会において、水道値上げの理由として、公営企業会計の赤字は、基本的には、一般会計から繰り入れないで一人立ちを目標として、市民に料金値上げをお願いしたいわけである。しかしながら工業用水会計は、計画水量二、三二五㎡/日が現在の利用水量はわずか三十三㎡/日で、金額ベースでは、年間約百万円の収入を上るのに、六千万円を一般会計より繰り入れても、さらに五百万円の営業赤字であり、企業会計の一人立ちという面から見れば、水道値上げの時の理由との整合性がないと思う。市としては、この工業用水事業の将来計画について、どのような考えなのかうかがいたい。

市の回答

工業用水は、矢筈ダムを水源として、その一部の水利権をもち、若木工業団地に給水するために作られた。しかし、バブルの崩壊などの景気の低迷により、計画水量までの利用がない。赤字のほとんどは、固定経費の部分であり大きく赤字を減少することはできない。工業団地の残り二区画に用水型の企業を誘致するしかない。

【他議員の質問と市の回答】

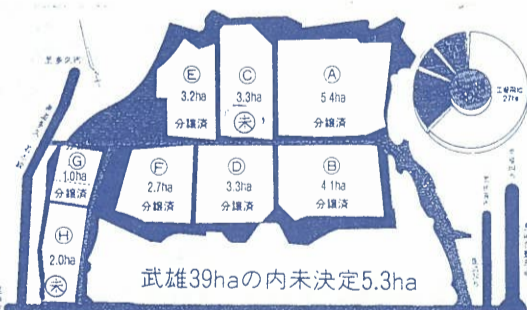
Q 農業振興地見直しについて？
A 平成七～九年までに見直し、眉山キャンプ場の道改良は？
A 連絡道として整備予定
Q キャンプ場の開業期間延長？
A 旅館業法との適合性を要調査
Q ジャンボタニシや猪の対策？
A 人海戦術実施、抜本改決あり。
Q 南部の道路・公園の手入れは？
A 道路は県、公園は地元委託
Q 体育館・野球場・プール整備

4若木工業団地の企業誘置方針について

一市では、工業団地の残り二区画について、水を多く使う企業の誘置を目標としているが、この不景気で企業進出が手びかえられているこの時期、一社三百㎡/日が最高とされる状況において、用水型の企業にこだわらずに、誘置するのが得策ではないか。

市の回答

あくまで用水型の企業誘置を目標とする。



県内19適地で658haの内467haは未決定と厳しい状況

5国際アジア大学の誘致について

TCVの、井本知事の有田・伊万里地区の「ふれ合い懇談会」の話の中で、「若者の減少する中、高等教育機関の設置は難しいが、武雄の如蘭塾のようなアジアも対象とした国際的なものなら可能性がある。現在、教育に関する審議会が行なわれていて、話し合われている。」ということであったが、武雄市は、どう考えているのか。

市の回答

県が、そのような方向になれば武雄市としても、誘致して行く。



再評価を受ける如蘭塾とアジア交流教育

特に具体的計画はない！
Q 学校完全週二日で修業可能か？
A 今の内容では、困難と思う。
Q 矢筈ダム公園の吊橋の設置は多額の費用がかり無理では？
A 西川登のゴルフ場の進捗は？
Q 今、停止中で他地区完成後に、保育時間の延長への取り組み近日、園長会議で意見集約。
Q ふるさと林道の来る梅林便所老朽化しているの今後検討
A 南部はもとと商業地区指定へ武雄は他市より商業地区広い
Q 第二工業団地の今後の見通し
A 今は無理、もう少し注視する。
Q 杵藤クリニックの安全性は大気・水とも特に問題はない。
A 駅の駐輪場設置について

【継続審議の報告】

○議員定数問題
A (削減理由が審議未了のため)担当は議員定数問題特別委員会
大坪委員長
○市長の資産公開問題
A (強制力が無いので他市を調査)担当は総務常任委員会
高木委員長

知っていますか。新制度 ふるさと融資

あなたも、大きな商売をやってみませんか？市が一億円を無利子でお貸しできます。

貸付対象者↓法人(三セクも可)
貸出し額↓借入れ総額の二〇%
貸付限度額↓一億円以内
償還期間↓十五年以内
担保↓民間金融機関の保証
などが条件としてあります。

一方、市の方の財源は、地方債でいわゆる借金であるが、元金は返って来るので、利子分が市の負担。しかし、その内の七十五%は国から交付税で返ってくる。

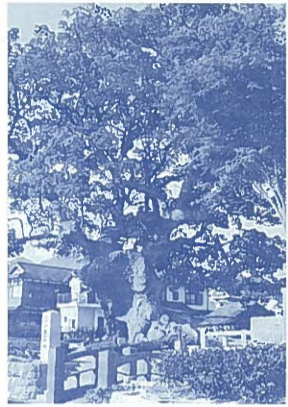
武雄市では、この制度は今年度から取り組む。第一号は、東洋館の増築と露天風呂に貸付けされるが、これによって、雇用拡大・固定資産税増収、それより、市観光施設の充実につながって欲しい。



増築の進む東洋館は1億円の貸出し

若木の大楠の長男は

草スキー場の横にいた！



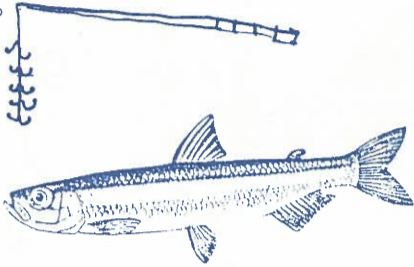
大楠から今年も種がおちている。しかし、その周りに苗は育っていない。今公園内でも売られているし、市政四〇周年にも配られたが、一番早く育てられた木がどれなのか気になって調査した。嬉野のみゆき公園に全国植樹祭の時、昭和天皇が手まきされたのが長男で高さ2米すでに実も付ける。



保養村池の内ため池の わかさぎは元気か

ここ二年、保養村の池の内ため池に、富士五湖で水に穴をあけてつる名物のわかさぎの卵数万個が放流された。しかし、水温が低い所を好むらしく、なかなか姿を見ない。他の魚に食べられたのでは、いや池の底にいるなど諸説。今冬は、九州ではめずらしい、わかさぎ釣りに挑戦し、生息を見て欲しい。尚、卵は長野県の諏訪湖より十万円分購入。

ところで、釣り方であるが、回遊している所に、わかさぎのしかけで釣るが、ハヤ釣りの方法でも可能だが、岸にはいない。



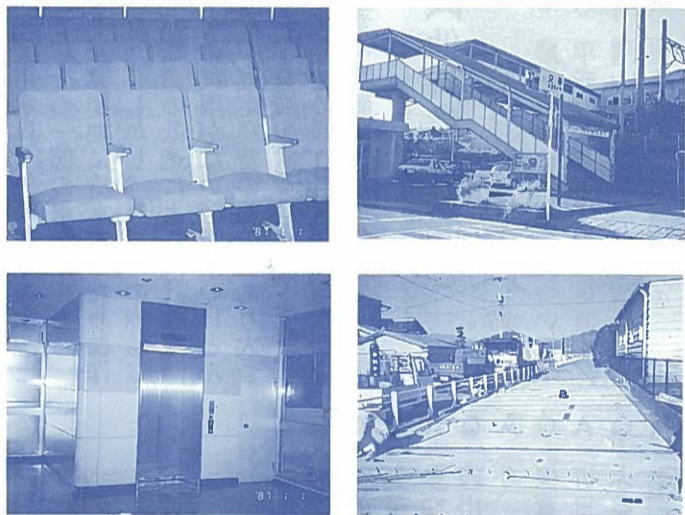
ボートに乗って釣ろうと思ったが、春まで休止

「スポット情報コーナー」

- 1 駅の階段と通路をぬり替える。
- 2 物産館近くの川の上に公園が。
- 3 文化会館小ホール、イス交換。
- 4 文化会館にエレベーター付いた。

「議員野球大会」

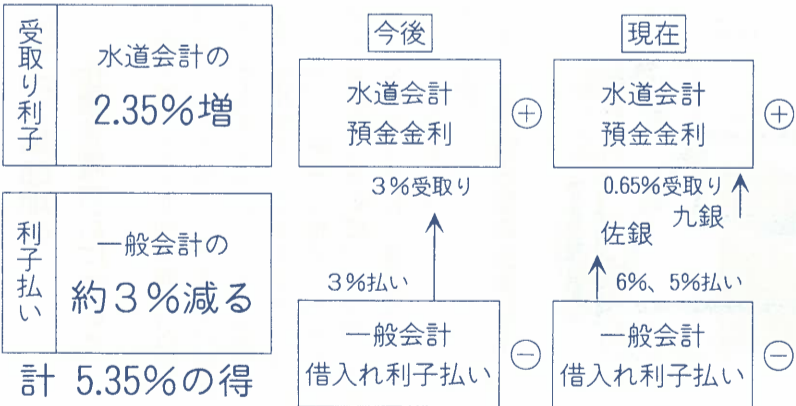
七市と県議の計八チームがA Bのパートに分かれて団体記念として三十年余続けられている。昨年はAパート優勝、今年は、二敗で来年はBパート陥落。ところで私は、初めての体験、一打席目は背中に、二打席目には頭に直撃のデットボールを受け災難、スタンドからはラッキーボーイの声、今後は、議会のラッキーボーイに！



財政課ヒット放つ！

「市の借金を借り変えて、市は約七千四百万円の得」

低金利の最今、個人においては住宅ローンを、高金利時代に借りた方は、さかんに借り変えがなされている。今回、武雄市においても、水道事業会計の保有資金から、三億八千万円を借り入れて、平成三年分の、保養村整備・御船小建設分の利率六%と、平成四年分の保養村整備・臨時地方道分の五%で、佐銀より借入れた分を返済する。そして、水道事業会計と三%の金利で貸借すれば、一般会計が、約四千三百万円の利子払が軽減され、一方、水道会計は、三千万円の金利を得る。財政担当者の努力や協力された佐銀に対し、心から敬意を表したい。



失言で議会中断!!

言いたかったのは、市長の真意が解らないうということ！

九月議会の一般質問で、私が市民のうわさ話を引き合いに出し、それくらい、イズミ進出や用途地域見なおし、さらには、のぼり窯構想など、市長の意図が解らないということを強調するために、「市長が、×でも、もうとじゃなかるーもん」との揶揄して言われたことを引用して、市長の決断の意図する所が市民には理解されていない事を追求する予定だった。しかし、その揶揄を発言した途端、議場は怒号の渦となった。すぐ、誤解を与える発言だったとして、陳謝したわけですが、今後は注意して、適確性に努めたい。

編集後記と 今後のプラン

選挙公約にあった、温泉新館の復元についても、市の出し分については、抛出が約束されて、最大の関門は通過した。後は所有者分をどうやって捻出するか、となるが、新館については市民の宝として、私はカンパ等の市民運動によって集めて良いと考えている。第2の公約、市街地整備については、どうしても、鉄道高架事業と関係している。今月、高架の見直し案が提出されて、市民の議論になると思うが、今、市が自由に使える金が3億円、その大半を高架に使うか、止めるか、財政改革をするかに決断を迫られる。年内行革大綱や地域医療の計画書が次々できてくる。どれを優先するか市民も関心をもっていただきたい。